

2024 年 10 月 11 日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山大学社会倫理研究所 2024 年度第 2 回懇話会開催のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学社会倫理研究所では、下記の通り、2024 年度第 2 回懇話会を開催いたします。

つきましては、取材、報道にてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、取材にお越しいただける場合は、事前に本学社会倫理研究所までご連絡をお願いいたします。

記

日時： 2024 年 10 月 26 日（土）14 時 00 分～17 時 30 分（予定）（13 時 30 分開場）

場所： 南山大学 M 棟 MB11 教室

共通テーマ： 災禍と日常を思い起こす：〈われわれ〉は何を引き受けるのかⅢ

演題 1 集合的トラウマとしての原発事故、修復に向けた介入研究

講師：成 元哲氏（中京大学 現代社会学部 教授）

演題 2 終わらぬ原発事故～福島第一原発の作業員を追い続けて～

講師：片山 夏子氏（中日新聞東京本社（東京新聞）福島特別支局長）

< 討論者 > 高森 順子氏（情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター研究員）

< 司会 > 西本 優樹（南山大学社会倫理研究所プロジェクト研究員／日本学術振興会特別研究員 PD）

主催：南山大学社会倫理研究所

共催：①科学研究費助成事業 課題番号：23K21876

②科学研究費助成事業 課題番号：23KJ2064

詳しくは、<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/ja/activities/activities/colloquia/028547.html>
をご参照ください。

以上



南山大学社会倫理研究所 2024年度第2回懇話会

災禍と日常を想起こす

〈われわれ〉は何を引き受けるのかⅢ



日時：2024年**10**月**26**日(土) 14:00～17:30

場所：南山大学 **M棟 MB11**教室 参加無料
一般聴講歓迎

講師：**成 元哲**

(中京大学 現代社会学部 教授)

演題：集合的トラウマとしての
原発事故、修復に向けた介入研究

講師：**片山 夏子**

(中日新聞東京本社(東京新聞)
福島特別支局長)

演題：終わらぬ原発事故～福島第一
原発の作業員を追い続けて～

討論者：**高森 順子**

(情報科学芸術大学院大学
産業文化研究センター研究員)

司会：**西本 優樹**

(南山大学社会倫理研究所プロジェクト
研究員/日本学術振興会特別研究員PD)

主催：南山大学社会倫理研究所
(科研費 23K21876、23KJ2064 共催)

災害や事故の体験を語り、
想起こし、受け継いでい
こうとする様々な取り組み
がある。

困難の経験をどのように形
にし、継承していくか。声
を聞き取ろうとする側の望
ましい態度や責任はどのよ
うなものか。

本懇話会では、災禍、また
それと地続きにある日常を
記録し残していく実践の一
端を共有しながら、これを
社会で共に生きる〈われわ
れ〉の問題として考えるこ
とを試みる。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所
Phone : 052-832-3111 (内線 : 3413,3414)
Fax : (052)832-3703
e-mail : ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp
HP : <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>